

## 横瀬・横瀬川ボルダー

2016.3.13 rctK

北山ハングの上流と下流の横瀬川兩岸にあるボルダー。北山ハングは石灰岩だが、ボルダーはチャートが中心である。

下流のボルダー(滝の枕)は R299 の橋より下流の川がゴルジュ状になった所にあり、左岸のボルダーを以前何本か登ったが、夏は取り付きが水面となってしまう。冬は水量が減り登れるのだが、年により不可能な時もあり変化が激しい。

上流のボルダーは秩父方面に行くクライマーの目には入っていると思われるが、小さいためあまり対象にされていないようだ。それでも SD 課題などで限定すれば十分に楽しめるものが幾つかあり、秩父の帰りなどに寄ってみることもできる。対岸(右岸)へは冬場なら飛び石伝いに渡れる。ここ暫く訪れていないのでボルダーは苔が付いたり、下地が変化したりしていると思われる。

アクセスは、車利用が基本である。駐車は北山ハング反対側の道が膨らんだ所と、下流の碎石工場側の旧道に可能である。

シーズンは通年だが、秋から春がベスト。夏季は増水があり不適である。

<横瀬川ボルダー>

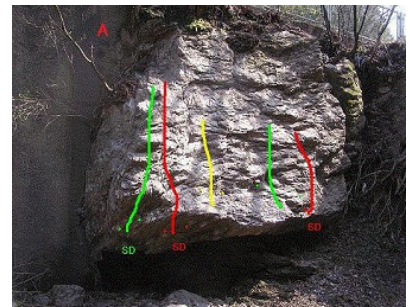


《課題紹介》ここでは A、B、D、H、J のボルダーのみ紹介する

### ●A 岩

道路下の川の側壁。

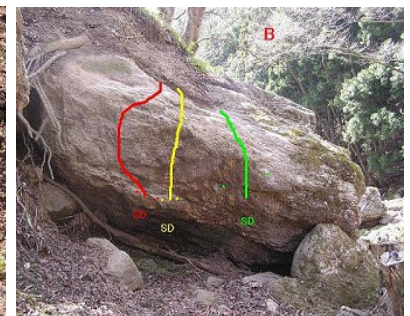
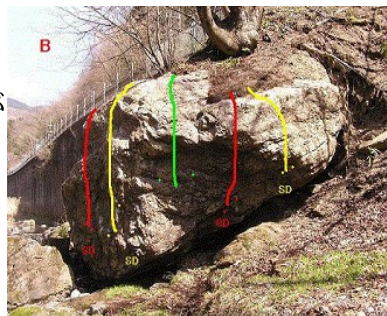
少し脆いところがあるので注意が必要。ハングを越えたら上まで行かず左にトラヴァースして降りる。



### ●B 岩(上流面:左 & 下流面:右)

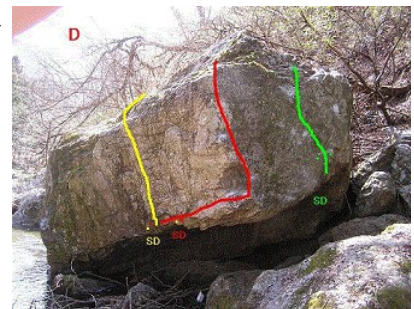
上下流側に課題がある。

上流側は流木が詰まっていることがある。木で日陰におり、落ち葉が溜まりやすく、上から雨水が流れてくるので苔が付きやすい。



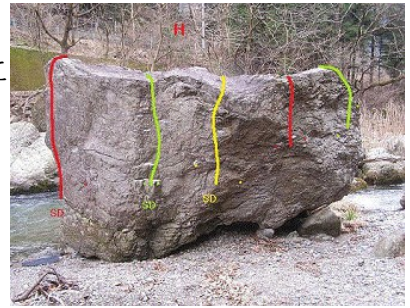
### ●D 岩

下がルーフになった大きな岩だが高さはあまりない。下地が少々不安定。



●H岩

そこそこの大きさがあるが、あまり面白い課題はない。川側の面にも課題がある。



●J岩 (滝の枕)

下流の川の側壁。

上流側まで砂地が現れれば、マットなどを敷いて左上部までリップトラヴァースの難しい課題ができると思われる。

右岸のボルダーも以前掃除をしたが未トライである。もしトライするのであれば、下が岩場なので必ずマットを利用したい。

